



まなびい 掲示板

▶第38回町子ども芸術展

町内小中学生の書道や絵画、工作などが勢揃い。子どもたちの発想豊かな、いきいきとした力作が多数展示されます。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

◇日時 12月1日(土)～10日(月)
9時から19時まで

◇場所 総合センター2階産業経営相談室
岡町公民館☎内線163

▶屋内プールの開放日時が変わります

12月から3月まで、葛巻小屋内プールの開放日時が次のとおり変わります。

お間違えのないよう、ご利用ください。

◇開放日 毎週水、金、日曜日

◇時間 水、金曜日 18時から21時まで
日曜日 13時から17時まで

◇その他 12月28日(金)から平成31年1月5日(土)の期間はお休みです

岡教育委員会事務局☎内線272

平成30年度岩手県教育表彰

「いわて教育の日のつどい」は10月31日、岩手県民会館で約450人が出席して開催され、学校教育や社会教育などに尽力した39人、11団体が表彰されました。高橋嘉行県教育長が「豊かな見識と経験を岩手県の教育振興に発揮してほしい」とあいさつし、受賞者に表彰状を手渡しました。

本町からは、2名の方々が表彰されました。

学校教育分野(学校保健)

平成2年4月から町の学校歯科医として、小中学校の「う歯予防活動」を積極的に推進するなど、学校現場における歯科保健活動の向上に貢献されています。



高橋欣也さん
(60歳、新町)

教育行政分野

平成18年10月に町教育委員会委員に就任し、本年1月からは、教育長職務代理者を務めるなど教育行政に貢献。また、教育と産業振興をつなぐなど幅広く活躍されています。



竹川高行さん
(62歳、正路)



1 勇壮な太鼓で文化祭を盛り上げる江刈地区文化祭の児童たち
2 無料送迎バスで初めに行われた声援を積み上げるまき積み競技の参加者
3 声援を積み上げるまき積み競技の参加者
4 飛び交う声援を聞きながら負の行方を見守っていました。



江刈地区文化祭 送迎バスを運行
江刈地区文化祭は10月27日と28日の2日間、江刈農村センターで開催され、今回初めて無料の送迎バスが運行されました。野中から大平橋までの区間を1日2往復。送迎バスを利用した人の中には、初めて来たという人も。「今まで来られなかったけれど、送迎バスが出たので、友達と見に来ました。ありがとうございました」と感謝し、文化祭を楽しんでいました。
北部地区文化祭 声援で絆深まる
北部地区文化祭は10月28日、田野構造改善センターを主会場で開催され、地域住民らは、秋の味覚を堪能したり、まき積み競技などで交流しました。田野、冬部、小田、星野の4つの地区で構成されている北部地区。まきを使った各地区対抗の競技では、集まった人たちが声援を送り、盛り上げながら勝負の行方を見守っていました。

趣向を凝らした文化祭

江刈&北部地区で盛大に開催



『探偵は教室にいない』

川澄浩平 作

北海道の中学に通う真央には、ちょっと変わった幼なじみがいる。ある日、真央のもとに届いた差出人不明のラブレターをめぐって、幼なじみの少年、歩と9年ぶりに再会を果たす。少年少女が新たな扉を開く瞬間を切り取った4つの物語です。



『あの頃の自分にガツンと言いたい』

野々村友紀子 作

カッコ良く生きたいなら、カッコつけるな！気持ちが変わらないなら、考えを変えろ！迷って迷って、やっと自分らしくいられる場所にたどり着いた放送作家の著者が、今だからこそガツンと言いたい言葉を「あの頃の自分」に送る。



『サンタクロースとあったよる』

ホリー・ホビー 作

クリスマス・イヴ。誰もが眠りにつく頃、窓の外は静かで、子どもたちは暖かい毛布の中で甘いお菓子の夢を見ている。子どもたちのお父さんが外の物音に飛び起きて窓を開くと、空には8頭のトナカイに引かれて走るソリが…。

公民館 図書室から 本の紹介

● 開館時間：午前8時30分～午後7時
● 休館日：年末年始

葛巻高校郷土芸能部 沖縄の舞台で華麗な舞を披露



沖縄県北中城村で開催された「伝統芸能交流フェスティバル」で葛巻神楽を披露する葛巻高校郷土芸能部の皆さん

葛巻高校(上柿剛校長、生徒133人)の郷土芸能部は11月10日、沖縄県北中城村のイオンモール沖縄ライカムで初めて開催された「伝統芸能交流フェスティバル」に参加し、葛巻神楽を披露しました。
今回の出演は、主催者である北中城村から「葛巻神楽を演舞してほしい」と招待されて実現したのも。葛巻神楽の演舞が終わると会場から拍手喝采が沸き起こり、出演した生徒らは感動した様子でその光景を目に焼き付けていました。新垣北中城村からは「毎年演舞してほしい」と声を掛けられ、今後の練習の励みになった様子でした。